

# キラリタイム指導計画案 (ロング・ショート)

担当者 ( 児玉 )

日時	平成24年6月26日(火) 13:20~13:55(35分間)
題材名	「『ごめんなさい』の絵手紙 ~心からあやまりたい人やものへ~」
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>心からあやまりたい人やものへ「ごめんなさい」の心をこめて絵手紙をかく。</li> <li>絵とことばで、心からあやまりたい人やものへの思いを自分らしくていねいに表現する。</li> </ul>
題材について	<p>子どもたちは日々暮らしている中で、いろいろな人やものに対して悪かったなと思いながらも素直に謝れなかった気持ちをもっていると思われる。今回の絵手紙は、心からあやまりたい人やものへのいろいろな思いを絵とことばで表し、普段何気なく関わっている身近な人やものとの心のつながりを深めていきたいと考え、『ごめんなさい』をテーマにした。一人一人が今心に抱いている気持ちが、絵手紙にいろんな表現として表れてくることが期待される。一人一人の絵手紙を見合うことで、作品のよさだけでなく、一人一人の心の中にある素直さや温もりを感じることができるようになりたい。また、作品から子どもの声を聞き、児童理解にもつなげていきたい。</p>
準備物	<p>担当で用意するもの ○絵手紙用の紙</p> <p>児童が用意するもの ○筆ペン(ピグマペン、名前ペン) ○絵の具、パスティック、色鉛筆</p>
学習の流れ	<ol style="list-style-type: none"> <li>放送の指示で、心の準備をする。 ※事前に必要な用具をそろえておく。(絵の具を使う人は、絵の具道具の準備をしておく)</li> <li>放送を聴き、題材とめあてを確認する。 ☆ 題材名 「ごめんなさいの絵手紙」 ☆ めあて (※学年に合わせて、めあてをわかりやすく示す) ① 心からあやまりたい人やものへ「ごめんなさい」の気持ちをこめて、心をこめて絵手紙をかこう。 ② 絵とことばで「ごめんなさい」の気持ちを自分らしくていねいに表そう。</li> <li>絵手紙を書く。 【かきかた】 ① 絵からかいても、ことばから書いてもどちらでもよい。(筆ペン・ピグマペン) ② 自分が使いたい用具を選んで、色をつける。(時間を考えて選ばせる) ③ 最後に名前を書く。(名前も作品の一つだと考える)</li> <li>終了時間5分前には、片づけを始める。</li> </ol>
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当が放送で導入をしているとき、①題材名 ②めあて を板書する。</li> <li>持ち物を事前に知らせ、用意しておく。</li> </ul>

けいこ

板書例

めあて

- 心からあやまりたい人やものへ「ごめんなさい」の気持ちをこめて、心をこめて絵手紙をかこう。
- 絵とことばで「ごめんなさい」の気持ちを自分らしくていねいに表そう。

心からあやまりたい人やものへ  
ごめんなさいの絵手紙